



9月22日(金)、福祉・看護コースの2・3年生21名が高野山を訪ねました。

これは、世界遺産の適切な保全・継承を目的に和歌山県世界遺産協議会が実施する次世代育成事業の一環として行われ、当初は参詣道を修復する道普請を予定していましたが、数日前に降った大雨で中止となり、現地での世界遺産学習となりました。

高野町中央公民館で世界遺産に関する講義を受けた後、霊宝館へ移動。ここから「マスターさん」と呼ばれる現地ボランティアスタッフの案内で、霊宝館、壇上伽藍、金剛峯寺等を見学しました。

マスターさんの話は丁寧で解りやすく、初めて知ることがたくさんありました。素直に耳を傾ける生徒の様子に、マスターさんの説

明にも熱がこもります。高野山は街が幾度も大火に遭い、貴重な文化財を消失してきたことから、重要な文化財は耐火構造を持つ霊宝館に集められ、各寺院にはレプリカが置かれていることもマスターさんの説明で知りました。

世界遺産は時代を超えた普遍的な価値があり、私たちにはこれを保全し、次の世代に伝え残していく責任があることを学びました。

紀美野“彩”発見

1年生の総合的な探究の時間では、『紀美野“彩”発見』と称して、地域で活躍する人材や有識者による講演、自然や歴史・文化施設等を訪ねるフィールドワークを行っています。

11月22日(水)の午後、紀美野町立みさと天文台を訪れ現地学習を行いました。

みさと天文台は、旧美里町が星を町の観光資源にすべく1995年に開設した天文台で、当時口径105㍉のカセグレン式望遠鏡は公開望遠鏡として日本一の大きさを誇りました。

この日は山内千里天文台長の案内で、大型望遠鏡がある「星の塔」やプラネタリウム棟の「宙の学舎」を見学させていただきました。

12月13日(水)、紀美野町谷で民宿「風の古民家うえみなみ」を営んでいる南出典子さんを招き講演を行いました。

南出さんは祖母から受け継いだ古民家を民宿として運営する傍ら、町内で休耕地になっている棚田の再生に取り組むなど、紀美野町

の地域づくりに深く携わっています。

南出さんがふれあい公園やみさと天文台など町内の名所を紹介したあと、生徒は班に分かれて自分が知っている紀美野町のスポットや、紀美野町を盛り上げるためのアイデア等について話し合いました。



こども園との交流

大成校舎は、普段からきみのこども園の子どもたちに図書館の絵本を貸し出していますが、それ以外でも生徒と園児が年代を超えて交流を行っています。

11月8日(水)、大成校舎を訪れた20名の園児と1年生が、校庭の花壇にチューリップ

の球根を植えました。始めは互いに緊張した面持ちでしたがすぐに打ち解け、生徒が園児に声を掛けながら一緒に球根を植える姿がありました。

来春には約600株のチューリップの花が校庭を彩ります。その時また園児たちを招きたいと思います。

11.8 チューリップ球根植え

12.25 クリスマス会

12月25日(月)、こども園のクリスマス会に図書部と有志の生徒9名が参加しました。生徒はそれぞれサンタクロースやトナカイに扮し、園児ひとり一人にプレゼントを手渡したあと、一緒にクリスマスソングを歌ったり踊ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



大器晩成

2023
2学期号

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、終息の兆しが見え始める中、しばらく自粛していたイベント等が再開されるようになりました。大成校舎では縮小していた行事が通常通りに戻り、地域の活動にも生徒が積極的に参加しています。マンスリータイムズ『大器晩成』2学期号では、こうした取組で活躍する生徒の様子をお伝えします。

10.21 体育大会

10月20日(金)、大成校舎グラウンドで体育大会が行われました。体育大会は例年6月に実施していますが、熱中症対策と生徒数減少に伴う生徒の負担を緩和するため、時期をずらして午前中でのみの開催となりました。当日は天候に恵まれ、秋晴れの心地よい日射しの中、クラス対抗で種目を競いました。

開会式で生徒会長・新谷優実さん(3年生)が挨拶した後、体育委員代表の辻本璃人さん(2年生)が宣誓をして大会が始まりました。クラス総当たりで対戦する『tug of war(綱引き)』クラスで飛んだ回数を競う『longrope jumpinng(大縄)』、リレー種目の『宅配便リレー』『台風の目』『二人三脚』

等で得点を争いました。結果は3年生が優勝し貫禄を見せつけるとともに、1年生も健闘して準優勝を果たしました。

今年はコンパクトな体育大会となりましたが、生徒は競技に集中して取り組んでいました。各クラスで盛り上がり、生徒の表情には自然と笑顔が溢れていました。





10月28日(土)、大成校舎にて大成祭を開催しました。今年は4年振りに入場制限を解除し、一般公開での実施となりました。前日の強風や突然の雨で天候が心配されましたが、当日は朝から晴れ渡り、降るされていた2年生のネット壁画も再び校舎前面に掲げられ準備は万端。開会行事に駆けつけた川久保校長の挨拶で大成祭が始まりました。

午前中は体育館でクラス、有志、軽音楽部によるステージ発表や美術部・写真部の作品展示が行われました。ステージでは劇やクイズ、ダンス、歌などのパフォーマンスが繰り広げられました。午後からは正面駐車場でクラスや育友会等による模擬店販売が行われました。模擬店目当てに多くの保護者や卒業生、一般の方が来

大成祭

10月28日(土)

場し、チケット売場では営業開始前から長蛇の列ができていました。各ブースでは、焼きそばやおでん、焼き鳥など飲食物販売や、お菓子釣り、わなげなどのアトラクション、バドミントン部による無料キーホルダー配布等が行われ、他にも茶道部のお茶席やネット壁画前での有志パフォーマンスなどがあり、大いに賑わいました。



8.31 人権・平和学習

8月31日(木)紀美野町公民館をお借りして平和・人権学習を行いました。今年度は零戦搭乗員の悲劇を描いた映画『永遠の0』を全校生徒で鑑賞しました。「生きて帰る」ことにこだわりながら自ら特

攻隊員を志願して命を落としていった主人公の祖父の生き方を辿る物語は、未だ世界各地で戦争が続く現代を生きる私たちに、生きることや戦争の意味を問いかけてくる内容でした。



修学旅行

11月15日(水)～17日(金)



11月15日(水)～17日(金)にかけ、2年生は広島方面へ修学旅行に出かけました。1日目は学校と海南駅をバスで出発した後、お昼には広島県福山市内に到着。昼食後は3班に分かれて「シーカヤック」「パラチャーム(パラ工芸)」「船釣り」の体験に臨みました。2日目は午前中に外国人観光客等で賑わう宮島を訪ね、世界遺産の厳島神社を見学した

あと、午後は広島市内の平和記念公園に移動して、大学生ボランティアの案内で原爆ドームや原爆死没者慰霊碑などを巡りました。広島平和記念資料館では原爆投下時の遺品資料や写真等が展示されていて、その生々しさに言葉を失いました。最終日は広島を離れ岡山県倉敷市に移動。白壁の蔵屋敷やなまこ壁などレトロな建物が

立ち並ぶ美観地区を散策し、友達と食事や買物を楽しみました。事故による交通規制等で行程が遅れ、予定していた姫路城見学は取り止めになりましたが、それ以外では大きなトラブルや悪天候に見舞われることなく旅行を満喫することができました。クラスで3日間行動をともにし、思い出に残る旅行になりました。



11.17 校外学習(遠足)

2年生が修学旅行で留守中の11月17日(金)、1年生と3年生は校外学習(遠足)に出かけました。1年生は神戸を訪ねメリケンパークや中華街などを散策、食事や買い物を楽しみました。3年生はUSJを訪れ、アトラクションを楽しむなど園内で充実した一日を過ごしました。



11.1 産業を支える人づくりプロジェクト

11月1日(水)の午後、1年生全員で学校近くにある金剛ダイス株式会社を訪問しました。これは県の労働政策課が企画する「産業を支えるひとづくりプロジェクト」事業による取組で、県内産業への理解と就労に対する意識の涵養を目的としています。

金剛ダイス株式会社は小型部品をつくる金型等を製作するメーカーで、この日は製造現場の見学と作業体験をさせていただきました。馴染みが薄い金型について理解を深めるとともに、金型で造られた部品がゲーム機など身近な製品に使われていることを知りました。



11.11 中学生体験入学

11月11日(土)、大成校舎において中学生体験入学(学校説明会)を実施し、11の中学校から35名の生徒と20名の保護者・教員の参加がありました。生徒会長の挨拶で始まった全体説明では、生徒会執行部によるスライドを使った学校生活の紹介や、担当教員から学習活動、進路指導、特別活動等の説明がありました。全体説明終了後は7つの講座に分かれて大

成校舎の授業を体験し、その後生徒会執行部の案内で校内施設を見学しました。午前中だけの短い体験入学でしたが、アンケートには「生徒同士、生徒と先生の距離が近いと感じた」「思ったよりも校舎の中が広かった」等、それぞれ感想を記してくれました。本校の生徒も、この体験入学で志望を決めた者が少なくありません。中学生の皆さんの進路選択の参考になれば幸いです。



11.29 生徒会役員改選

11月29日(水)に生徒会役員改選に伴う立会演説会及び役員選挙が行われました。現執行部の退任の挨拶のあと、立候補者の演説と投票が行われ、新会長に2年生の橋本獅零さんが選出されました。また副会長2名、

書記6名、会計5名も決まり新しい執行部体制が整いました。大成校舎の生徒が充実した高校生活を過ごせるよう、新執行部には主体的で活発な活動を期待しています。



地域に根ざした教育活動

大成校舎は前身である大成高校の時代から、伝統的に地域に根ざした教育活動に取り組んできました。地域でのボランティア活動や地域資源を活かした教育活動、図書館の一般開放など、地元に着目した取組は現在も受け継がれ、大成校舎の特色のひとつになっています。

しかし世界を襲ったコロナ禍によりこうした活動は大きく制限され、暫く大成校舎らしい活動ができない苦しい時期を過ごしてきました。またこの間、募集定員が2クラスから1クラスに減り学校規模が縮小するなど、学校を取り巻く状況も大きく変化しています。

今年度に入ってようやくコロナ禍終息の兆しが見える中、地域活動が徐々に再開されるようになりました。私たちは生徒が学校を離れて地域活動に参画し様々な経験を重ねることは、多様な世代の人たちとの交流を促し、自己肯定感や主体性を高めるなど、生徒の全人的な成長につながると考えています。幸い大成校舎がある地域は自然や文化、人材など豊かな教育資源に恵まれています。改めて高校生が地域活動に参画する目的や学校が置かれる状況を確認し、これからも地域資源を活かした教育活動に取り組んでいきます。

10.13 / 11.10 / 12.8 キノコ食堂ボランティア

毎月第2金曜日の夕方から夜にかけて、大成校舎に程近い動木集会所でキノコ食堂が開かれています。

キノコ食堂は「紀美野町子ども食堂」の略称で、様々な理由で食事ができていない子どもや孤食の高齢者、町内への移住者、核家族など、様々な人たちが食事をとおして交流する地域コミュニティの場として、2018年から地域ボランティアによって運営されています。

以前から、大成校舎の生徒が配膳のお手伝いやここに集

まる子どもたちの遊び相手などのボランティア活動を行っていましたが、コロナ禍で活動が途絶えていました。この間キノコ食堂もテイクアウト弁当の提供のみになるなど活動を縮小させていましたが、10月から集会所での食事提供を再開、大成校舎も活動を再開させることになりました。

現在は、ボランティア活動を行う「ピースクラブ」の部員を中心に有志生徒が毎回数名参加し、盛り付けのお手伝いなどを行っています。

12.10 第18回紀美野ふれあいマラソン大会ボランティア

12月10日(日)、紀美野町のかみふれあい公園を会場に、第18回紀美野ふれあいマラソン大会が開催され、本校の「ピースクラブ」部員20名と顧問2名がボランティアとして参加しました。コロナ禍で暫く大会の開催は休止し



ていましたが、昨年度に再開され、ボランティア活動も2年連続での参加となりました。

当日は会場到着後、スタッフ受付を済ませてから参加賞引換を手伝い、その後は、決勝誘導や給水、たすき、走路など、それぞれ担当する係の持ち場に分かれて仕事を行いました。

昨年は小雪が舞う中で凍えながら活動を行いましたが、今年は季節外れの陽気の中で大会を迎えました。10キロコースマラソンでは気温の高さにバテる選手もいて、沿道から大会ゲストランナーでインフルエンサーのきゃっするひとみさんと一緒に、生徒が懸命にランナーに声援を送っていました。

10.15 野上八幡宮秋祭り神輿担ぎボランティア

10月15日(日)、野上八幡宮の秋の例大祭が行われ、4年振りに神輿や獅子舞、稚児渡りで地域が賑わいました。

午前10時に本殿祭が執り行われた後、午後1時に自治会メンバー、本校生徒、育友会役員など約120名が神輿7基を担いで八幡宮を出発。獅子舞やお稚児さんとともに厚生病院近くにある御旅所までの往復約1キロを渡り歩きました。

秋祭りでは地域の高齢化や子ども会の合併に伴い、神

輿の担ぎ手が年々減少しており、2017年からは本校生徒も担ぎ手としてボランティアに参加しています。この日は全校生徒の約半分、40名余りが有志で参加し、伝統文化継承の一役を担いました。

生徒たちは元気に掛け声を上げながら神輿を担ぎ、祭りに活気と華やかさを添えていました。沿道に詰めかけた地域の人たちや見物客からもたくさんの声援をいただき、生徒の表情に充実感が溢れていました。



12.18 野上八幡宮絵馬奉納

12月18日(月)、本校美術部員8名が来年の干支の辰にちなんだ制作した特大絵馬を野上八幡宮に奉納しました。奉納は今年で26回目。過去の絵馬は今もすべて神社内に保管されています。

部員たちは12月上旬から神社内で制作に取りかかり、アクリル絵具やペンキを使って縦180センチ、横270センチの絵馬を約2週間かけて描き上げました。

この日は早速、部員と顧問、育友会や神社の関係者で取付作業を行い、神社に登る階段の下からでも見上げることができる場所に掲げられました。

